

コラム 「平成で"守る"は変化した？」

エンパブリック代表 広石拓司

ゼミ「問いかけ力を磨こう」は、これまで約200名の方に参加いただいておりますが、修了した方の交流、対話の機会として、「問いかけセッション」を行っています。今年に入って「平成の間に変わったこと、変わらなかったこと」をテーマに3回開催しました。興味深かったのが、「この20～30年で同じ言葉を使って、その意味が変わってきた」という話です。

変化の中で印象的だったのが「守る」。

昭和では「会社が社員を守っていた」。それは、会社中心の生活で、公私ともに深くつきあい、会社という枠の中にいることが前提だったから。社員は会社の一員であることを前提に生きることで守られていたし、それを普通に選択していた。

では、「平成の終わる今、会社が社員を守るとは？」と対話は進みました。

会社や事業部が続くかわからない時代、昭和的に会社が社員を守れないことは、社員もわかっている。その時代に「会社が社員を守ろう」とするなら、副業などを積極的に認めることではないか。また、社員が契約終了や転職した後に、自分の力でやっていける力を高めたり、環境を整えることではないか。

そこから、高齢化の問題においても、「守る」は変化した。昭和の終わりに「高齢者を守る」とは「お年寄りだからしなくていい、こちらがしてあげる」だった。今の「高齢者を守る」は、「自分で動き、参加し、責任なども引き受けることで、健康寿命を延ばす」に。

「認知症の人を守る」も「施設に入れる」から「地域での生活を続け、参加できる環境を整える」に。

「家族を守る」も「夫が働いて妻は家事」から「夫婦共に働き、家事や育児も分担するパートナー」に。

共通しているのは、「守ってあげる→守られる」という一方向で、パターンリズムな関係から、「それぞれが自ら立てるような環境を協力してつづいていく」の方向にシフトしていることです。

平成を通して変化は進み、未だ移行期ですが、その方向に進むのではないか。

個で立ちながら、それを支え合える環境はどうしたらいいか、探求を続けていきたいと思いました。

ワークショップの詳細・申込は、**ばづくーるスクール**のページで

http://empublic.jp/nez_studio

株式会社エンパブリック

エンパブリック根津スタジオ

東京都文京区弥生2-12-3 (千代田線根津駅1分)

お問い合わせは info@empublic.jp まで



ゼミ 「問いかけ力を磨こう」

～本質を探り、変化を生む場をつくるために

(全6回)

情報も、多様な選択肢もあふれる中で、
自分の道を拓くのは「問いかけ力」

組織や社会のこれまで解決できていない複雑な問題に挑む時、新規事業を創る時、必要なのは、質の高い問いを設定できるか、そして、その問いを適切に周りと分かち合い、共に挑む関係をつくっていきけるか、です。

このゼミでは6つの視点から対話と演習、実践体験を通して自分の問題意識を多面的に磨くことで、質の高い課題解決につながる問いかける力と場づくり力を身につけます。



1. 問いかけ入門

～探求と関係づくりの問いかけをしよう

2. 関係性を育む問いとは？

～合意形成ファシリテーション

3. 学びを促す問いとは？

～ラーニング・ファシリテーション

4. チーム力を高める問いとは？

～ダイバーシティ・ファシリテーション

5. 今ある問題の本質に迫る問いとは？

～システム思考・ファシリテーション

6. 未来を拓く問いとは？

～デザイン思考とイノベーションのファシリテーション

詳細は、
問いかけゼミの
ページで



【日曜2日間集中コース】 5/26 & 6/30 9:30~18:00

【木曜夜コース】 5/16、23、30、6/6、20、27

各回 19:00~21:40

全6回セット 30,000円

(欠席の回については、別コースへのふりかえが可能です)

【ナビゲーター】 広石拓司 (エンパブリック代表)

詳細・申込 <http://empublic.jp/questioning>

サステナビリティをビジネスで推進するための問いかけ力

～SDGs時代の仕事・組織のイノベーションに求められる場づくりとは？

変化の時代に「自分たちのビジネスはどう社会に必要とされるのか？どのように中長期的に存続・発展できる基盤を整え、事業を構築していくのか？」を、仲間・同僚・上司・経営陣に対して、顧客や取引先、株主に対して、地域社会に対して、どのように問いかけ、対話を進め、関係を構築していくのか。対話と演習を通して、共に考えましょう！

第1回 SDGsがビジネスに問いかけていること

第2回 21世紀のビジネスを構想し、イノベーションを促すには？

第3回 2025年の最高の仕事をデザインするための問いかけ

【水曜夜コース】 3/20、4/3、17 各回 19:00~21:40

【日曜1日集中コース】 4/28 10:00~18:30

全3回セット 18,000円 【ナビゲーター】 広石拓司

詳細・申込 <https://empublic.jp/9230>



雑談から始まるファシリと場づくり ～つながりと協力を促すファシリテーションの基礎

職場で、地域での話し合いを、つながりや協力を生み出すとするには何が必要なのでしょう？場を守り立てる技術の基礎を学んだ上で、ファシリテーターを実践し、講師からの個別にアドバイスをもらい、自分らしいファシリテーション力を高めたい人のプログラムです。

4/12 (金) 19:00 - 22:00

ワークショップ・デザイン ～参加型の学びの場の創り方

学びの場を、一方通行のセミナーから、対話や参加のあるワークショップに変えていこう！

セミナーや研修、イベントを双方向型で、参加者同士でも学びあひ、行動の変化を生み出す場にするには？ワークショップの設計法を知り、自分のプランを磨く講座です。

04/21 (日) 13:30-18:00

東京に自然エネルギーの森をつくらう～都市から再生可能エネルギーの未来をつくるには？

東京を、エネルギーの消費地から生産地に変える！？

empublic × Cirtlab Tokyo collective for sustainability Vol.3

04/11(木) 19:00-21:30

会場：シティラボ東京

<エンパブリックの出版物>



書籍 ソーシャルプロジェクトを成功に導く12ステップ ～コレクティブな協働なら解決できる！SDGs時代の複雑な社会問題

小さな個人・組織・会社がつながり、協力して、大きな社会を動かすには、どうしたらいいの？そのための考え方とプロセスを、12のステップに整理！社会で起きている問題に挑もうと考えている方のためのガイドブックができました。

著者 佐藤真久 × 広石拓司
発行 株式会社みくに出版
定価：1,800円（税抜）

詳細・購入 <http://empublic.jp/sp12steps>

Amazon等でも販売中！



書籍「共に考える講座のつくり方 ～あなたの経験をみんなの学びに」 広石拓司 著 価格1,080円

ワークショップを始めたい方へ！
自分の経験から講演をつくる際のネタの見つけ方から、講演の設計法、対話の場づくりまで役立つノウハウをコンパクトにまとめたガイドブック。プロの講師ではない人が、学びの講座をつくるためにご活用いただけます。
Amazonでも販売中！



情報誌 readiness for 2025 地産知縁 vol.5

今、世界は大きな変革期です。会社、事業開発、組織、会議、学び、キャリアの6つにおいて今、始まっている変化が定着する2025年の姿を、現状との対比から、まとめました。

変化に向き合い、変化を活かせるreadiness（レディネス：準備・覚悟）を整えるヒントとしてご活用ください。

購入ページ <http://empublic.jp/6250>

- ・冊子版800円
- ・PDF版540円



第4号「アクションを促す 学びの場をつくるには？」

- <事例紹介>
- ・エンパブリックの社会教育講座
 - ・ご近所イノベーター学校、
 - ・aschoopl

第3号「起業家を育てる基盤とは？」

- <事例紹介>
- ・プロムリ・バイ・ボウ・センター
 - ・リクルート・ベンチャーズ

第2号「ビジネスの現場で ワークショップを活用するには？」

- <事例紹介>
- ・キリン・ホールディングス Nakano Style
 - ・台東デザイナーズビレッジ

第1号「対話の場の可能性と必要性」

好評発売中！

(価格は税込)

情報誌 「地産知縁」

1～4号セット 冊子版 1,620円
PDF版 972円

その他の出版物、ツールの紹介、
購入申込みはこちらから

<http://empublic.jp/publication>